

第2次山梨県食の安全・安心推進計画に係る数値目標の進捗状況（令和元年度）

○各指標項目ごとの達成状況

◎：目標を達成している項目 ○：順調に進捗している項目 △：進捗が遅れている項目 -：評価できない項目

重点項目	NO.	指標項目	策定時 (H27)	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	数値目標 (R3)	進捗状況	R1事業実績	R2取り組み予定	関係課室
(1) 監視指導等に基づく「生産」から「消費」に至る食品の安全性の確保	1	食品衛生監視指導計画に基づく標準監視回数達成率	115%	130.1% (達成)	111.4% (達成)	127% (達成)			100%	◎	平成31年度食品衛生監視指導計画に基づいた監視指導を実施した	令和2年度食品衛生監視指導計画に基づいた監視指導を実施する。	衛生業務課
	2	給食施設巡回指導の計画の実施率	-	101.7% (達成)	100.9% (達成)	104.6% (達成)			100%	◎	巡回実施計画数：175 (学校を除く) 巡回実施数：183	管理栄養士や栄養士の配置状況、栄養管理報告書の分析結果を勘案し、各保健所の状況にあった個別巡回指導計画を立て、指導を実施する。指導重点項目を設け、施設毎に効果的かつ効率的な栄養管理に関する指導及び支援を実施し、給食施設における栄養管理についての資質の向上を図る。	健康増進課
	3	やまなしGAP等認証数 (累計) (策定時：GAP(農業生産工程管理)の導入産地数)	30産地	31件	80者	130者			200者 (R4 240者)	○	やまなしGAPの普及・拡大を図るとともに、国際水準GAPの取得を推進した。 ・GAP指導員研修等への普及指導職員の派遣 (12名) ・やまなしGAP認証審査会の開催 (3回) ・GAP推進フォーラムの開催 (1回) ・国際水準GAPの認証取得支援 ※H29年度に新たに「やまなしGAP」を創設したため、その認証数を実績として掲載する。なお、目標値は「やまなし農業基本計画」と整合を図り修正。	やまなしGAPの普及・拡大を図るとともに、国際水準GAPの取得を推進する。 ○GAP指導員研修等への普及指導職員の派遣 ○やまなしGAP認証審査会の開催 ○GAP推進フォーラムの開催 ○国際水準GAPの認証取得支援	農業技術課
			【参考指標】 年40者増			120者	160者	200者					
	4	有機農業の取り組み面積	132ha	160ha	181ha	204ha (達成)			200ha	◎	有機農業の取り組み面積の拡大を図った。 ・有機農業アカデミーの開催 (1回) ・環境保全型農業直接支払交付金による支援 ・有機農業実証ほの設置 (3ヶ所) ・販路拡大等の支援	有機農業の取り組み面積の拡大を図る。 ○有機農業アカデミーの開催 ○環境保全型農業直接支払交付金による支援 ○有機農業実証ほの設置 ○販路拡大等の支援	農業技術課
【参考指標】 年14ha増			146ha	160ha	174ha	188ha	202ha						
5	HACCPの普及啓発に係る講習会参加者数	8,335人	8,433人	延べ16,360人 (H29～H30)	延べ24,255人 (H29～R1)			延べ42,000人 (H29～R3)	△	食品関係講習会の実施時に、HACCP方式による自主衛生管理について説明を行い普及啓発を行う。	引き続き実施する。	衛生業務課 甲府市	
		【参考指標】 年8,400人増	8,400人	延べ16,800人 (H29～H30)	延べ25,200人 (H29～R1)	延べ33,600人 (H29～R2)	延べ42,000人 (H29～R3)						
(2) 食品に関する正確な情報の提供	6	食の安全・安心ポータルサイトアクセス数	11,079件	13,822件 (達成)	11,589件	10,823件			12,000件	△	かいじ号や講習会等でサイト周知。 食品表示法違反情報や健康被害情報を毎月掲載。 【ポータルサイトアクセス数内訳】 トップページ (PC)：6,115件 トップページ (スマートフォン)：379件 自主回収情報ページ：4,329件	・消費生活情報誌かいじ号での周知をはじめ、様々な機会を捉え、周知を図る。 ・正確な情報の迅速な提供と内容の充実により、アクセス数の増加を図る。	県民安全協働課
			【参考指標】 年427件増	10,721件	11,148件	11,575件	12,000件	12,427件					
	7	食品表示合同調査による食品の適正表示実施率100%の地域店舗の割合	76%	70.0%	77.9%	85.3% (達成)			85%	◎	食品表示合同調査を各地域ごとに実施 <調査施設数、調査品目数> 調査施設数：878施設 不適正表示施設数：129施設、 調査品目数：33,422品目 不適正表示品目数：464品目	・適正表示実施率100%の地域店舗の割合が低い地域における監視・指導の強化。	県民安全協働課
8	食品表示ウォッチャーからの報告件数	4,146件	2,738件	2,943件	7,781件 (達成)			4,350件	◎	食品表示ウォッチャーの98名のうち91名から7,781件の報告があった。 <報告内訳> 4～6月：1,725件、7～9月：2,212件、 10～12月：2,057件、1～3月：1,787件	研修会等での周知。 報告目標数を設定。	県民安全協働課	
		【参考指標】 年41件増	4,187件	4,228件	4,269件	4,310件	4,351件						

○各指標項目ごとの達成状況

◎：目標を達成している項目 ○：順調に進捗している項目 △：進捗が遅れている項目 ー：評価できない項目

重点項目	NO.	指標項目	策定時 (H27)	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	数値目標 (R3)	進捗状況	R1事業実績	R2取り組み予定	関係課室
(3) 関係者間の相互理解の増進、信頼関係の構築	9	リスクコミュニケーションの機会への参加者数	705人	1,398人 (達成)	1,245人 (達成)	1,184人 (達成)			730人	◎	リスクコミュニケーションの機会に参加している人数【1,184人】 ・食の安全・安心を語る会：225人 ・食品ロス削減に向けた研修会：300人 ・食育推進シンポジウム：270人 ・食の安全・食育推進大会：143人 ・県政出張講座：0名 ・県民生活センター講座：(11回)246人	シンポジウムや推進大会などの開催について食の安全・安心、食育に関心のある消費者や事業者へ周知を行う。	県民安全協働課
	10	学校給食における地場産物の使用割合(食材ベース)	23%	31.7% (達成)	23.6%	27.5%			30%	○	・学校給食栄養報告(週報)【文部科学省調査】による抽出4校による報告数値の実績 ・市町村学校給食担当者対象の説明会で、地場産物の活用促進を依頼した。 ・栄養教諭、学校栄養職員対象の研修会において、教科や給食時間中の食育指導において、地場産物を効果的に用いるための研修会を工夫する。	○年間を通し、地場産物を活用した給食を県下全域で実施する。 ○学校給食における年間を通じた地場産物の活用と、教科や給食時間中の食育指導において、地場産物を効果的に用いるための研修会を工夫する。	保健体育課
	11	県内店舗における原産地に関する詳細な情報提供の実施率(指定する5種類)	ー	53%	47%	59%			70%	○	食品表示合同調査実施時に加工食品5種類について、詳細な原産地情報の表示を確認した。 <調査品目数> 調査品目数：636品目 国産表示品目数：460品目 国産表示品目数のうち 詳細な情報提供表示 品目数：171品目	食品表示法の調査時及び説明会等、様々な機会を通じて周知を図る。	県民安全協働課
(4) 食の安全・安心を総合的に推進するための体制整備等	12	農業管理指導士・農業適正使用アドバイザーの有効認定者数	486人 (H23~27の平均値)	515人 (達成)	509人 (達成)	483人			500人	○	農業管理指導士及び農業適正使用アドバイザーの認定研修会の開催(1回) 農業管理指導士 認定者：104人 農業適正使用アドバイザー 認定者：53人	農業管理指導士及び農業適正使用アドバイザーの認定研修会の開催	農業技術課
	13	食育推進ボランティア(食生活改善推進員を除く)の登録者数	1,284人	1,759人 (達成)	1,665人 (達成)	1,512人 (達成)			1,400人	◎	食育推進ボランティア登録者数【1,512人】	大学や食品関連事業者等に対して積極的に新規登録を働きかける。	県民安全協働課

○推進計画における数値目標に対する進捗状況

区分	項目数	構成比(%)
目標を達成している項目	7	54%
順調に進捗している項目	4	31%
進捗が遅れている項目	2	15%
評価できない項目	0	0%
計	13	100%